おおい自然園　自然観察会

冬の生きものさがし

日時　平成２９年１２月２日（土）午前９時００分～11 時 30 分
場所　いこいの村周辺
講師　一寸木　肇　おおい自然園園長
参加者　　１７人
サポーター　　２人

これから、冬の生きものさがしを始めます。
今日は、いつもと違うやり方で観察会を行います。
いろいろな落ち葉や木の実を拾って、袋に入れてください。最後に落ち葉図鑑を作る予定です。

秋の野草を楽しもう

１２月になりましたが、今年は紅葉や秋の野草をまだ見ることができます。

このアザミは、タイアザミという秋に咲くアザミです。

このうすい紫色の花は、ノコンギクです。

この白くてかわいい花は、リュウノウギクです。

きれいな空気を確認できるコケ

クヌギという木の表面に白いものがついています。
これは、ウメノキゴケの仲間です。
ウメノキゴケは空気がきれいな所に生えるので、環境の指標として知られています。

いろいろな落ち葉を拾ってみよう

サクラの落ち葉のじゅうたん

ツタの赤い葉

落ち葉にもいろいろな色がありますね。

紅葉や周りの景色を双眼鏡で見てみよう

紅葉がとてもきれいです。
双眼鏡で周りの景色を見てみましょう。
遠くに見えるのは、大山です。
大山は、昔からとてもたくさんの人が願い事を祈るために登った信仰の山として知られています。

超すっぱいガマズミの実

赤い実がたくさんなっている木があります。
この木はガマズミという木で、赤い実は食べることができます。
食べてみましょう。
「すっぱーい。」
この味覚も秋の野山の楽しみです。

簡単に抜ける白い穂

道横の土手に白い穂が並んで立っています。
引っ張ってみると、力を入れなくても面白いくらいに簡単に抜けます。
穂を摘んでみましょう。

この白い穂はアキノタムラソウの花が咲いた後にできたものです。穂の中に黒い種が入っていますね。

何に見える？　面白い形の種

この黒い実はアオツズラフジというツルの実です。
実の中には、変わった形の種が入っています。
どんな形でしょうか。

黒い実の中から黄色い種が出てきました。
アンモナイトに似ていませんか？
昔の人は、エビが丸まった形に似ているのでカミエビとも呼びました。

里山の秋は、紅葉がとても美しく、落ち葉もふかふかです。澄んだおいしい空気は、元気をくれます。

東京スカイツリーは見える？

この場所から、東京スカイツリーが見えます。
双眼鏡で見てみましょう。
うっすらと見えますね。

ミカンの匂いがする実　カラスザンショウ

この木の表面をさわってみてください。
とげがたくさんありますね。
この木はカラスザンショウという木です。

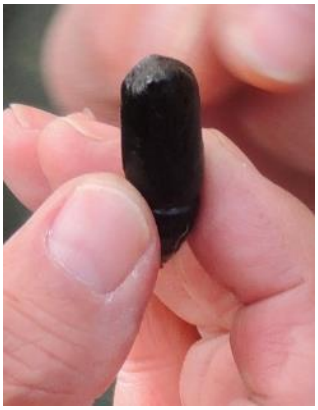
木の上を見上げると、葉の形は鳥の羽みたいですね。
黒い実がなっています。

実が下に落ちていました。
匂いをかいでみてください。
どんな匂いですか？

「ミカンのいい匂いがする。」
カラスザンショウはミカンの仲間の木なのです。

落ち葉の中から緑色の昆虫を見つけました。口が赤いですね。

この虫はクビキリギスという昆虫です。いたずらをすると首をかみ切ってしまうということから、こんな名前になったと言われています。



落ち葉の中から黒いものを見つけました。これは何でしょうか？

これはスズメガの仲間のさなぎです。

動くこともありますが、今日は、動きませんね。

赤い実は種子？

これは、テイカカズラというツル植物です。
赤いものがなっていますがなんでしょうか？

テイカカズラの実はインゲンマメのように細長い実です。この実を棒でつつくと、中から白い綿毛を持った種子が出てきました。

先ほどの赤い実は虫こぶだったのですね。

カマキリの卵鞘（らんしょう）

子どもたちがカマキリの卵鞘（らんしょう）を見つけました。

カマキリは、下から卵を産みます。不思議な産み方をしますね。

ヤマノイモの種子の知恵

ヤマノイモの実を見つけました。

ヤマノイモの実を一つとって、実につばをつけて鼻の上に乗せると“天狗の鼻”だ！という昔遊びがありました。

今度は、この実の中から種子を取り出してみましょう。

１つの実には３つの部屋がありますね。そして１つ室の中には２つずつ種子が入っていました。

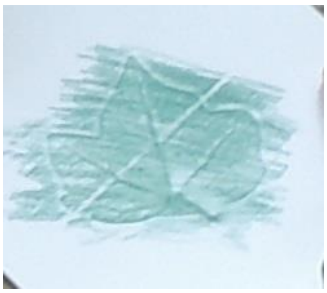
だから、一つの実には６個の種子が入っているのですね。

種子の形はどんな形ですか？

「ピップエレキバンみたい。」

子どもたちの感性はすごいですね。

ヤマノイモの実は、天気が良いときに実がはじけて、種子を風に乗せて遠くまで運んでいたのですね。



私の落ち葉図鑑を作ろう

今日集めた落ち葉をこすり出して、落ち葉図鑑を作りましょう。